

1 審議会名	上田市障害者施策審議会
2 日時	令和2年3月5日 午前10時00分から10時55分まで
3 会場	上田市役所東庁舎1階第1会議室
4 出席者	伊藤委員、小沼委員、片山委員、小池委員、小林(彰)委員、小林(功)委員、櫻井委員、佐藤委員、中村委員、花岡委員、宮下(千)委員、
5 市側出席者	近藤福祉部長、堀内障がい者支援課長、柳沢丸子市民サービス課課長補佐、杉山真田市民サービス課長、佐藤武石市民サービス課長、小平障がい者支援担当係長、弓掛主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人、記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年3月5日
協 議 事 項 等	

1 開 会 (障がい者支援課長)

2 福祉部長あいさつ

3 会長あいさつ

新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、集まっていただき感謝する。

条例案について審議いただくが、短時間で済ませられるようご協力をお願いしたい。

なお、マスク着用のため発言の際は大きめの声をお願いしたい。

4 協議事項 (司 会) 会長

(1) アンケート結果の報告について (資料に基づき事務局より報告)

(委 員) 市民の意識を高める施策を重要だと考える割合が、三者(障がい者、障がい児の保護者、健常者)とも高い数値との結果であったが、具体的にどんなコミュニケーション手段についての意識を高めるべきかという点は三者で違うのではないか。この点の分析は今後のクロス集計に期待したいが、クロス集計で分析した結果も報告書として出るという認識でよいか。

(事務局) 今回は審議会の審議事項の都合上、また、新型コロナウイルスの感染拡大防止との観点から短時間での報告にする意図があり、条例がらみの部分だけを抜粋した暫定版とした。クロス集計については計画等に反映させていく方向で今後実施し、報告書にまとめていきたい

(2) 意思疎通手段等の利用促進条例(案)について (資料に基づき事務局から説明)

(委 員) 害の時の表記についてはひらがなの「がい」の字が望ましいのではないかと前回審議会でも提案されたが、今回の案では漢字表記になっている。この点について事務局の見解は。

(事務局) 市の条例における表記について総務課文書法規係に確認したところ、市の例規では害の字は漢字で統一すべきとの見解であった。念のため答申内容を再確認したい。

(会 長) 視覚聴覚障がいを主たる対象としているが、他の障がいを排除しているわけではなく、その他の障がいとして盛り込んでいる点は評価できるのではないか。

(副会長) 市民に向けての条例なので、市民も条例について考えてもらいたいと思う。定義に事業者しか入っていないが、これでよいものか

(事務局) 市民にも浸透させたいという趣旨はお見込みのとおり。

第2条はあくまでも定義なので、市民の役割は第5条で触れさせていただいている。

(委 員) 語句の使用方法について、前文で「障害の有無にかかわらず」とあり、第2条では「障害のある者」、第3条では「障害のある人もない人も」という記載があるが、表現を使い分けた理由はなにか。

(事務局) 特段理由がないため、表現の統一について検討したい。

(委 員) 「者」というのは冷たい表現のように思うので、「人」がよいのではないか。

(3) 令和2年度の審議会スケジュール(案)について (資料に基づき事務局から説明)

(委員) 条例が7月施行となった場合、第7条にあるような学びに関する取組み、啓発に関する取組みなども令和2年度に実施されるのか。

(事務局) 条例は令和2年度中早期の施行を目指しているが、各論的な施策、事業スケジュールについては現時点では未定。

(4) その他

(会長) せっかくの機会であるので一人一言意見をいただきたい。

(委員) 意見を漏れなく平等に取り込むのは大変だと思う。何かあれば提案したい。

(委員) 資料が事前に届くと期待があった。当日配布では頭に入らないので前もって送ってもらえるよう配慮いただきたい。

(委員) 前回の意見も反映されており、忙しい中であって事務局は大変苦労されていると感じた。資料を今拝見しただけでは十分に考えられず、特段意見も言えず申し訳ない。

(委員) 非常に良く構成された条例案だと思う。第7条に掲げるような施策をいかに関係機関で実施していけるか、考えていけるかが大切。第7条に関してさらに議論を深める場を設けてもらえればありがたい。

(委員) 「市民にとってわかりやすい表現」というものを考えるうえでは、健常者向けアンケート結果が参考になるだろうと思う。改めてアンケート結果を確認して再検討したい。

(委員) 素晴らしい条例案。アンケートの回答率が低いような気がするがどうか。

(事務局) 昨今のアンケート調査はたいてい40%弱である。

(委員) 就労分野については、障がい特性に応じた仕事や配慮した雇用条件というニーズを改めて知ることができた。市と協力しながら引き続き就労支援していきたい。

(委員) いかに市民に周知していくかという点、努力してもらいたい。

アンケートの結果については公開して他の団体も利用できるようにしてほしい。

(副会長) 資料は改めて丁寧に拝見させていただきたい。

第7条の施策をどうやって運営していくのかという先々のことを考えることが重要。また、市民にどうやって伝えていけばよいか、ということも考えていく必要がある。言葉ではわかりにくい部分は、子供でもわかるように図や絵で示すということも大切ではないか。内容に沿うデザイン化が必要。広報戦略について、より市民に近い条例や計画になるよう、一緒に検討していきたい。

(会長) 皆の意見を参考に、事務局で再考いただきたい。条例を作って終わりではなく、それが始まりなので、施策に反映していただき、素晴らしい上田市にしていいただきたい。

(事務局) 資料を事前配布できなかった点については大変申し訳ない。

具体的に意思疎通支援として動いている事業や新規提案などもあるので、令和2年度事業は未定と申し上げたが、第7条に掲げたような施策については取り組みを検討していきたい。

どのように市民の皆様浸透していけるかということを担当課として検討していきたい。

5 事務連絡

(事務局) 短時間開催となった都合上、十分に審議できなかった部分もあるかもしれない。追加で意見等がある場合は、配布した様式に記入の上、事務局へ提出いただきたい。

後日パブリックコメントも募集するため、そこで意見していただいてもよい。

6 閉会 (障がい者支援課長)